

武蔵野市自治基本条例（仮称） 無作為抽出市民ワークショップの開催について

1 ワークショップ開催の目的

武蔵野市では、市の最上位計画である長期計画又は調整計画の策定過程において、市民参加をコンセプトの一つとしており、第五期長期計画の策定時（平成22年）から無作為抽出市民ワークショップを開催している。現在では他の個別計画等の策定過程においても、無作為抽出市民ワークショップを開催しているケースがある。

ワークショップ開催の目的として、普段市政にあまり関心のない層への参加のきっかけづくりと、そのような方たちも含めて広く市民の意見を伺うこと、また、参加を通してテーマに対する市民の意識の醸成を図ることなどが挙げられる。

2 無作為抽出の方法

ワークショップの概要としては、市内に住民登録がある方のうち、無作為に抽出した1,500人にワークショップ参加依頼の通知を送り、その中で参加に承諾した方を対象に行う。市が主催するワークショップ等の場において、若い世代の参加が少ないことがたびたび指摘され、これまで開催したワークショップにおいても課題であったため、抽出にあたっては、1,500名のうち500名を18～24歳の条件付きで抽出、残りの1,000名を18歳以上とする。

3 ワークショップの概要

「自治基本条例」といっても馴染みが薄い市民の方が多いと思われるため、まずはじめに、自治基本条例に関しての共通理解を促すための大枠の説明をした上で、その後市民同士での話し合いをスタートしていく。5～6人のグループに分かれ、テーマ（よりよい武蔵野市にするためにできること）についての意見交換を行い、最後はグループごとに話し合いの成果を発表する。なお、ファシリテーターとして職員が各テーブルにつくことを想定している。あくまでファシリテーターのため、職員は議論には加わらないが、議論が行き詰った時の手助けや、市に関する質問に答えるなどしてグループでの話し合いが活発に行われるよう補佐をする。

4 開催日時及び場所

平成29年2月19日（日）午後1時から5時まで
市役所811会議室

5 参加者数（見込み）

最大100人